

海上の森アカデミー 基礎講座

参加費
無料

森林や里山、そこに暮らす生きもののこと。

身近な自然について、一步踏み込んで学んでみませんか？

日 時	講 義 内 容	講 師
① 2月25日 (日曜日) 座学 13:30~15:30	カメから見た 里山、里地の環境問題 日本在来のカメの生態やその生息環境の現状、外来種による影響等について知り、里山と里地の環境問題について考えてみましょう。	矢部 隆 愛知学院大学教授 専門：カメ学（爬虫類学） 淡水生カメ類の生態や行動の研究に取り組みながら、自然環境保全のための普及啓発、外来種駆除等を推進しています。
② 3月4日 (日曜日) 座学 10:00~12:00 実習 13:00~15:00	海上の森の自然 ～海上の森ってどんなところ？～ 地形・地質と植生の関係や特有の生きものが生息する湧水湿地など、海上の森の豊かな自然の特徴を学び、森や湿地の野外観察へ出かけます。	富田 啓介 愛知学院大学講師 専門：自然地理学・地生態学 海上の森のほか、各地の湿地、都市近郊の丘陵地の自然、植生について研究するとともに、その保全に取り組んでいます。
③ 3月11日 (日曜日) 座学 10:00~12:00 実習 13:00~15:00	森林の土壌と根っこの話 土の中で木の根がどのように伸び、どんな役割を果たしているのか想像したことはありませんか。森林へ入り、土壌や根系を掘り出して、実物を見ながら学びます。	平野 恭弘 名古屋大学大学院准教授 専門：樹木根生態学 人工林や里山林、海岸林など、様々な森林において調査を行い、「樹木の根」の機能の解明を目指しています。

【会 場】 あいち海上の森センター 3階 研修室 ほか

【対 象】 一般の方

【定 員】 ①:30名、② ③:各20名

【申込方法】 裏面をご覧ください

【申込締切】 平成30年2月12日(月)必着

※ 連続講座ではありません。各講義を選択して受講できます。

※ 応募者多数の場合は抽選となります。

森を知る。
森に学ぶ。

海上の森アカデミー基礎講座 受講申込書 (FAX送信先 0561-85-1841)

ふりがな 氏名	-----	性別		年齢	才
住所	〒 -				
連絡先	電話:	E-mail:			
講義名 ※ 受講を希望する講義を選択してください(複数選択可)。 ※ 応募者多数で抽選となった場合、希望順に配慮します。			受講希望 (○を記入)	希望順 (1~3を記入)	
① 2/25(日) 「カメから見た里山、里地の環境問題」<座学>					
② 3/4(日) 「海上の森の自然 ~海上の森ってどんなところ?~」<座学・実習>					
③ 3/11(日) 「森林の土壌と根つこの話」<座学・実習>					

<申込方法> 上記項目を記載の上、封書、FAX、葉書、メールでお申込みください。
メールの場合は、件名を「海上の森アカデミー基礎講座受講申込」としてください。

<申込締切> 平成30年2月12日(月)【必着】

<受講者の決定> 申込みが定員を上回る場合は抽選により決定します。
受講の可否については、平成30年2月18日(日)までに全員に通知します。
定員を下回る場合は、締切日以降も募集を継続し、ホームページ等でお知らせします。

<申込・問合せ> あいち海上の森センター 〒489-0857 愛知県瀬戸市吉野町304-1
電話: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841
E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp ホームページ: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

<あいち海上の森センターへのアクセス>

■ 電車の場合

(1) 愛知環状鉄道「山口」駅から徒歩25分

愛知環状鉄道「山口」駅を下車し、国道155号線を南(八草方面)に向かい、大坪町交差点を左折。二つ目の信号を右折し、10分ほど歩くと、右手にあいち海上の森センター本館が見えます。

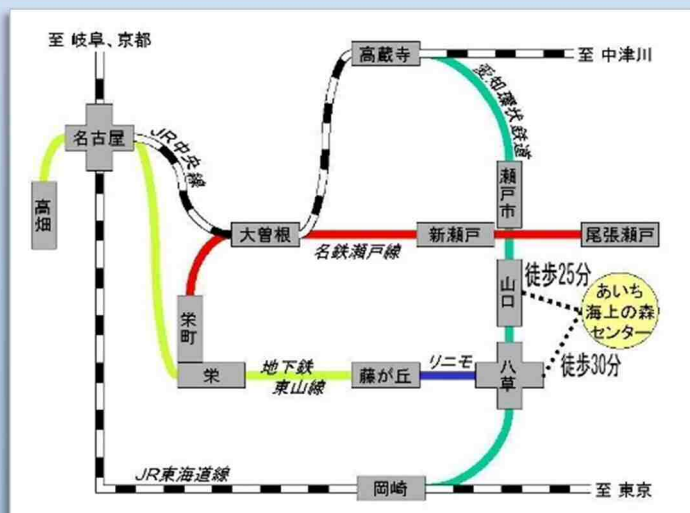
(2) リニモ「八草」駅または愛知環状鉄道「八草」駅から徒歩30分

「八草」駅を下車し、国道155号線を北(山口方面)に向かい、一つ目の交差点を右折。愛知工業大学方面に向い、愛知工業大学前交差点を左折。10分ほど歩いた後に突き当たりの交差点を左折。坂を下った後に見える一つ目の交差点を右折し、3分ほど歩くと突き当たりの右手にあいち海上の森センター本館が見えます。

■ 車の場合

名古屋瀬戸道路「長久手I.C.」から約10分
東海環状自動車道「赤津I.C.」から約10分

国道155号線大坪町交差点を東へ進み、二つ目の信号を右折。突き当たりの右手にあいち海上の森センター本館が見えます。
(駐車可能台数27台)



※ 本事業は「あいち森と緑づくり税」を活用しています。